



令和5年度

仁比山っ子

神埼市立仁比山小学校

学校だより No. 33

令和5年7月11日

文責：校長 秋吉 洋志

(R5年度 9号)

やさしさいっぱい なかよくする子 北風よりも太陽を!

仁比山っ子のめあての一項目です。人権教育につながる大切なめあてです。人権は人が生まれながらにして持っている大切な権利です。人間として大切にされて生きていくためには、なくてはならないものです。

本校の児童にも、人権についてしっかりと理解し、周りの人を大切に思う心情を養いたいと考え、日々実践しています。

その一環として、お互いの呼び方について指導しています。友達同士呼名する際に、呼び捨てをやめ「〇〇さん」と呼ぶようにしています。教職員が児童を呼ぶときも「さん」を付けるようにしています。

また、友達の良いところを積極的に認め、全員に「いいところ」があることをしっかりと胸に刻ませる取り組みを行っています。その一つは、校長室前に掲示している「ぼかぼかの木」。友達のいいところをハート型のカードに記入したものを木の葉にみたくて、掲示しています。「あいさつがすばらしいね。」「みんなと助けあいができていますね。」「いろんな活動に自分からチャレンジしていますね。」等たくさんの誉め言葉が並んでいます。

自分のいいところを見つけてもらった児童は自然と笑顔が出ています。人権マインドの育成とともに、これからの自信につながると思います。



能楽教室開催(4~6年)

「能」は「狂言」とともに室町時代から我が国に伝わる古典芸能です。神埼市内には芸能史的にも貴重な狂言が伝承されていますし、能舞台の設置が可能なホールもあります。そのような縁で能楽教室が開催されました。

能の成り立ちや使われる楽器の説明等をプロの能楽師である多久島法子氏にさせていただきました。

日頃なじみの薄い分野のお話でしたので興味をもってくださるか心配でしたが、多久島さんのお話に引き込まれていたようでした。後日、話の聞き方がすばらしかったとの言葉をいただきましたよ。

5,6年生は能楽教室の募集もきています。

先日配布したプリントをご覧ください。希望の場合は7月14日までに申込をお願いします。



安全確保について考える

今回の大雨では隣県や県内、市内に大きな被害が起きました。心よりお悔やみ申し上げます。今回は線状降水帯が発生し、避難指示：レベル4も出されました。学校に向かう途中、城原川の水位を確認しましたが、尋常ではない高さに恐怖を覚えました。

危機管理、安全確保においては常に、正しい判断ができるようになっておきたいものです。

「正常性バイアス」という言葉が頭をよぎります。正常性バイアスとは、異常なことが起こった時に「大したことじゃない」と落ち着こうとする心の働きです。日常生活では、不安や心配を減らす役割がありますが、緊急事態では逃げ遅れなど、危険に巻き込まれる原因にもなることです。

特に我が国は台風や地震等の自然災害が多いので変に「慣れて」しまっているという指摘もあるようです。

常に正しい判断をすることの大切さについて改めて考えた次第でした。



城原川の水位が堤防の高さギリギリのところまで…(神埼橋付近)